

環境と健康に寄与する 「みやざきブランド」の取組について



いのちに感謝

みやざきブランド推進本部

[宮崎県・JA宮崎経済連]



宮崎県認証

みやざきブランド推進本部

東国原知事誕生と宮崎県

○「宮崎をどげんかせんといかん」東国原知事の誕生



「ピンチをチャンスに」

高病原性鳥インフルエンザ発生を
逆手にとった地鶏のPR

「無から有を生む」

県庁庁舎が年間40万人が訪れる
観光スポットに





「逆転の発想：宮崎はここやが」
県所在地の知名度再最下位を逆に
宮崎PRの材料に

「CMにも出演：特産野菜をPR」
テレビにも積極的に出演し
宮崎をPR



○「宮崎ブーム」全国発信！知事の力は大きいけれど・・・



「生産者の地道な努力」



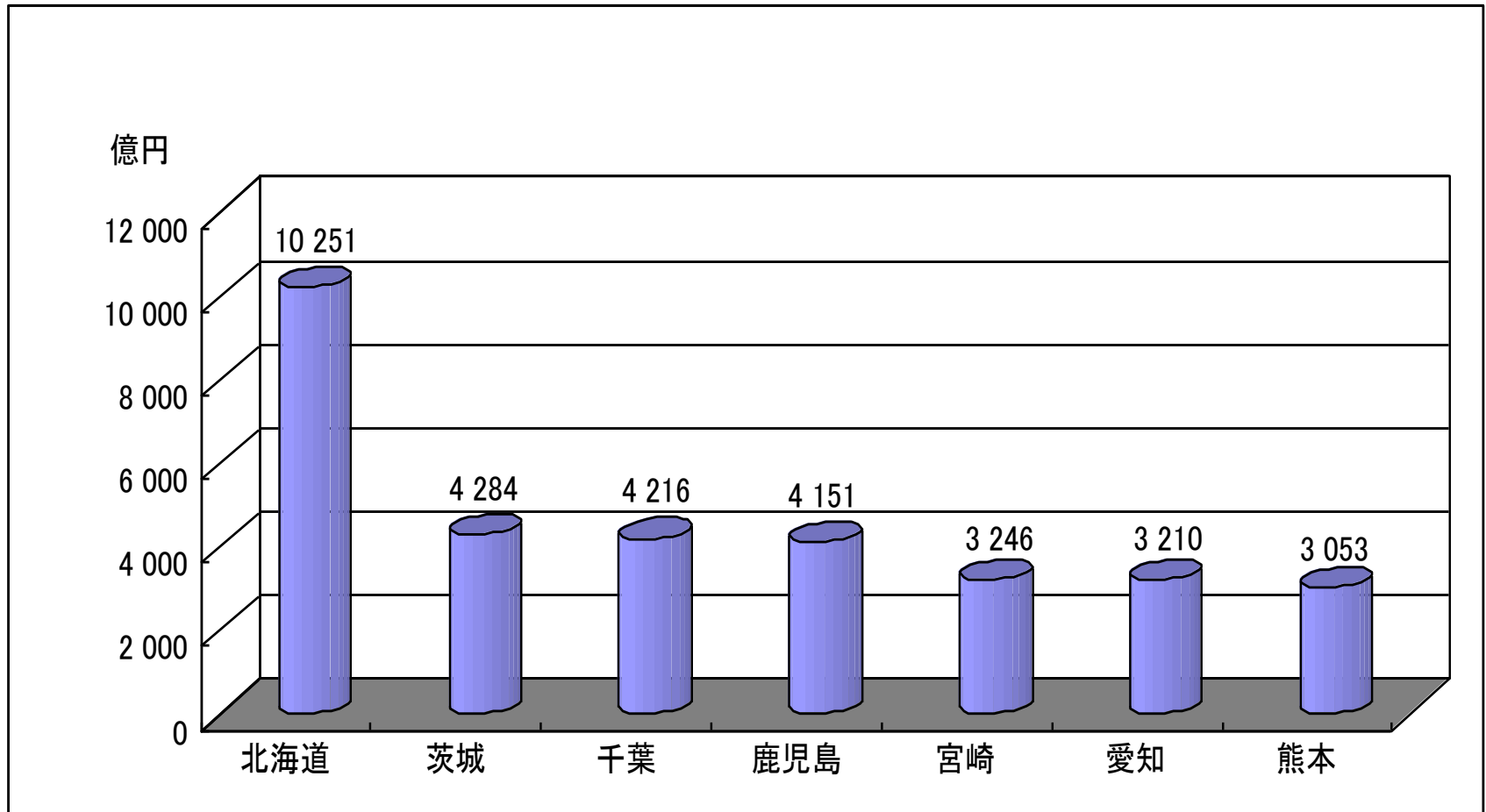
指導員による生産指導



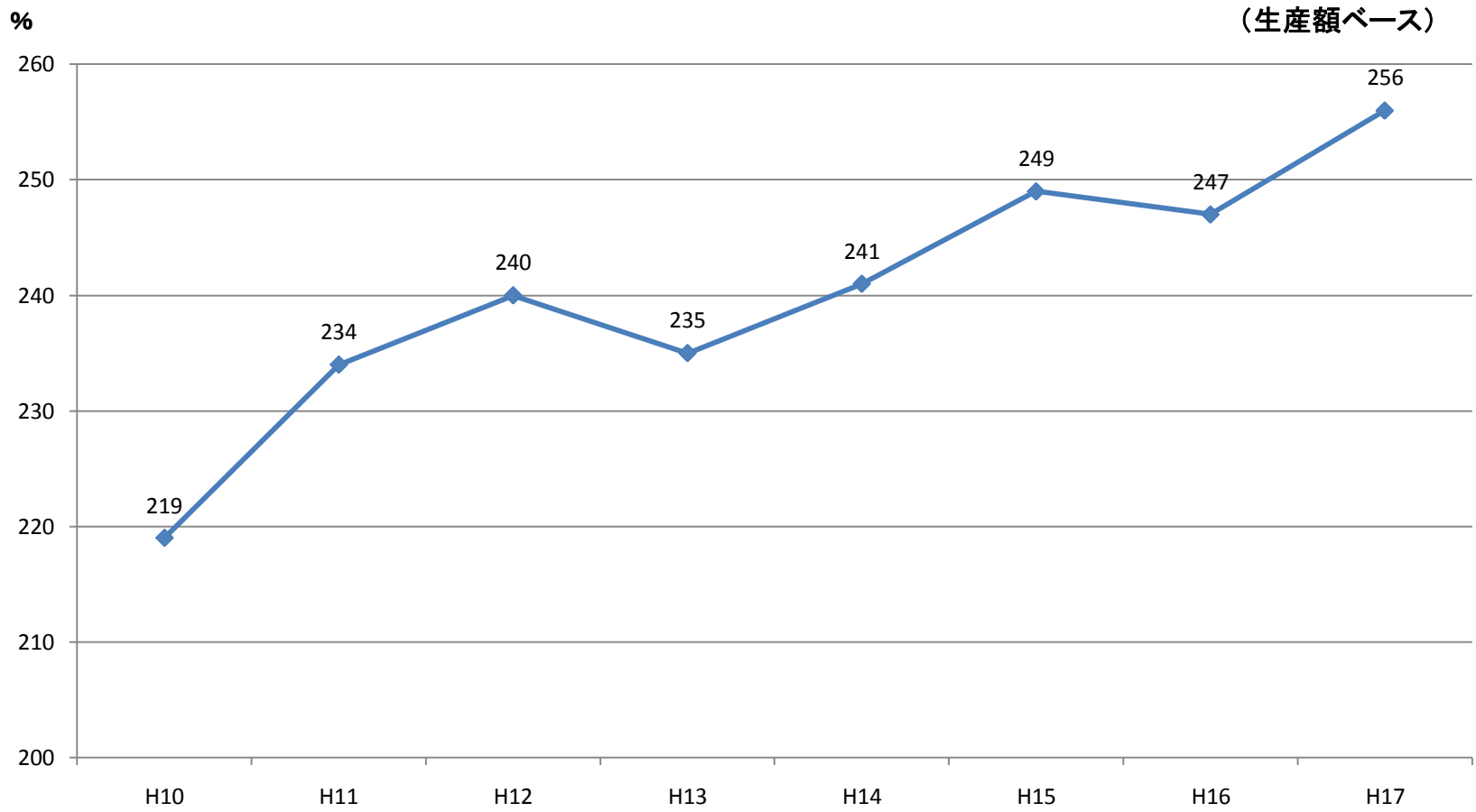
みやざきフェアでの
お客さんに対する試食案内

農業産出額

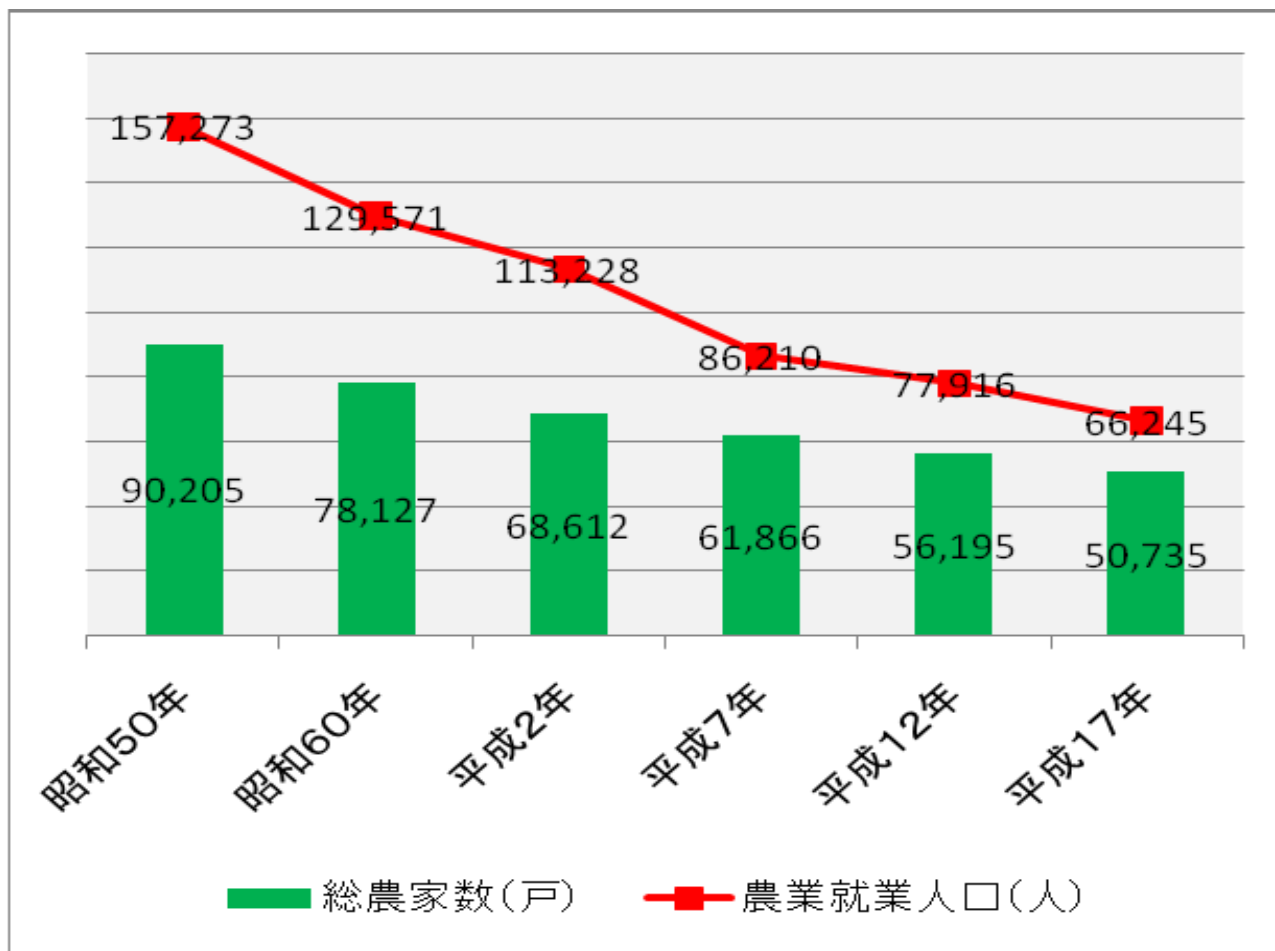
平成20年



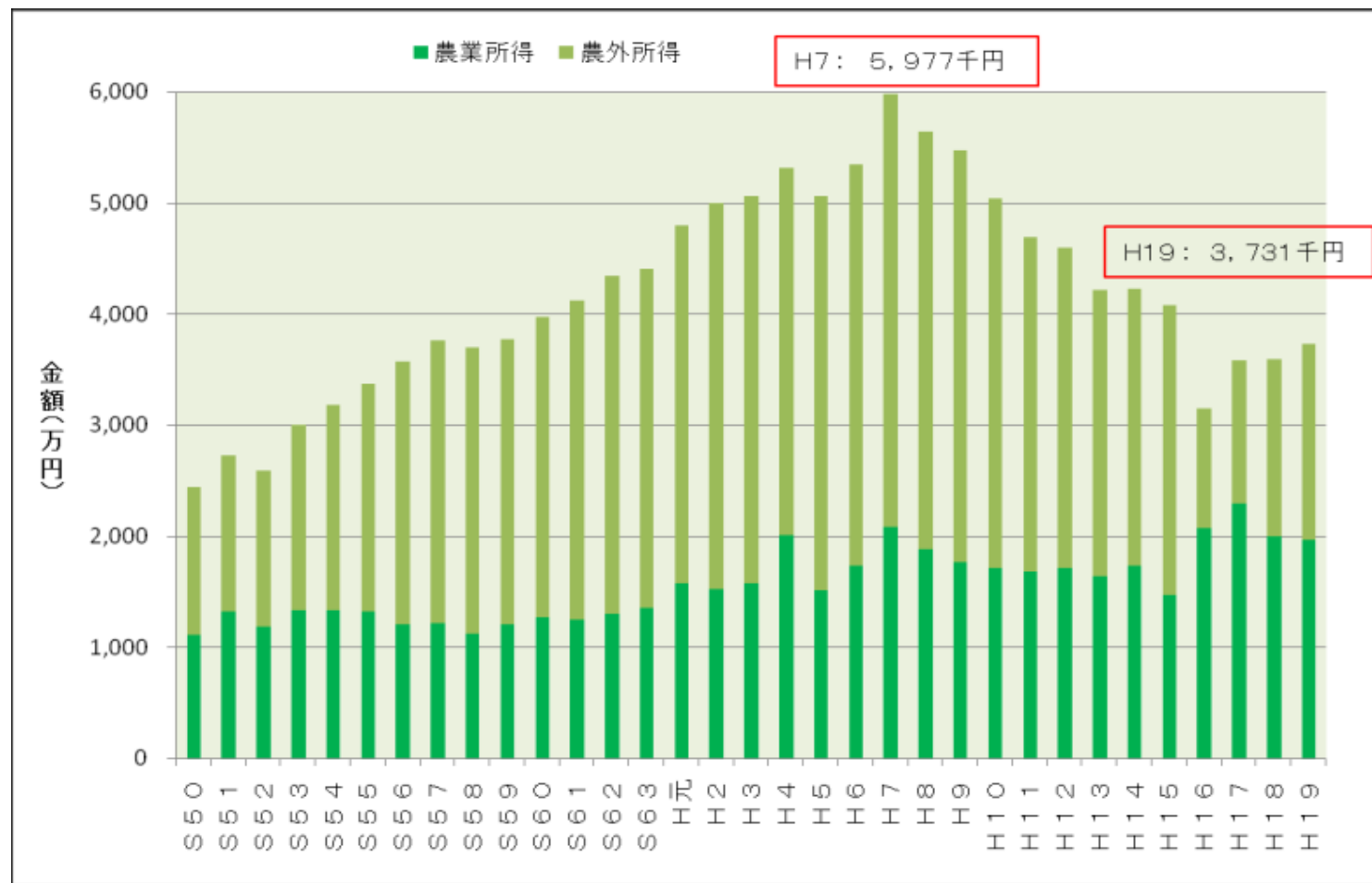
宮崎県の食料自給率



総農家戸数と農業就業人口の推移



農家所得(農業所得+農外所得)の推移



みやざきブランド戦略



食ブランド ≡ 「みやざきブランド」 (みやざきブランド推進本部)

基本コンセプト「いのちの恵みに感謝する県、みやざき」
～農畜産物の「いのち」を見つめ、慈しみ育ててきた農業県として、「食べ物」に感謝する姿勢～



特長ある商品づくり

商品ブランド認証制度
※商品ブランド…33商品
※確実かつ安定的に供給できる産地…75産地

信頼される産地づくり

残留農薬検査体制
品質保証システム
産地チェック

安定的な取引づくり

トップセールス
販売促進会議
情熱みやざきフェア

みやざきブランドのイメージ定着戦略

ブランド価値

2) 心理価値の確立

- 産地名や商品名から選択度が高まる価値

1) 機能価値の追求

- 商品そのものの品質
- 産地の体制や仕組み

ポイント1 選び抜かれた逸品

～商品ブランド認証制度を核とした特長ある商品づくり～

「商品ブランド認証制度」とは

- ◆ 「消費者が今農産物に求めているものは何か」が出发点
- ◆ 商品毎に「おいしさ」や「鮮度」、「安全性」などの基準をクリアした農産物を「商品ブランド」として認証する制度
- ◆ 現在 …… 商品ブランド 33商品
ブランド産地 75産地

(平成22年2月9日現在)

完熟マンゴー「太陽のタマゴ」

認証基準

- ◆自然に落果するまで樹上で完熟
- ◆階級「2L」以上
(重さ「350g」以上)
- ◆糖度「15度」以上
- ◆出荷期間中に月2検体以上の残留農薬検査を実施

「太陽のタマゴ」の名前は平成10年に名付けられました。



認証基準例

宮崎牛

認証基準

◆宮崎県内で肥育された黒毛和牛で、日本食肉格付協会が定める格付基準の肉質等級4等級以上のもの

平成19年に開催された第9回全国和牛能力共進会において、9部門中7部門で第1位を獲得。名実ともに日本一となりました。



○消費者にわかりやすい品質保証の仕組みづくりにも挑戦

◆完熟マンゴー、完熟きんかん、メロン等については、**非破壊光センサー選果機**の導入を進め、「**糖度保証**」の仕組みづくりを推進しています。



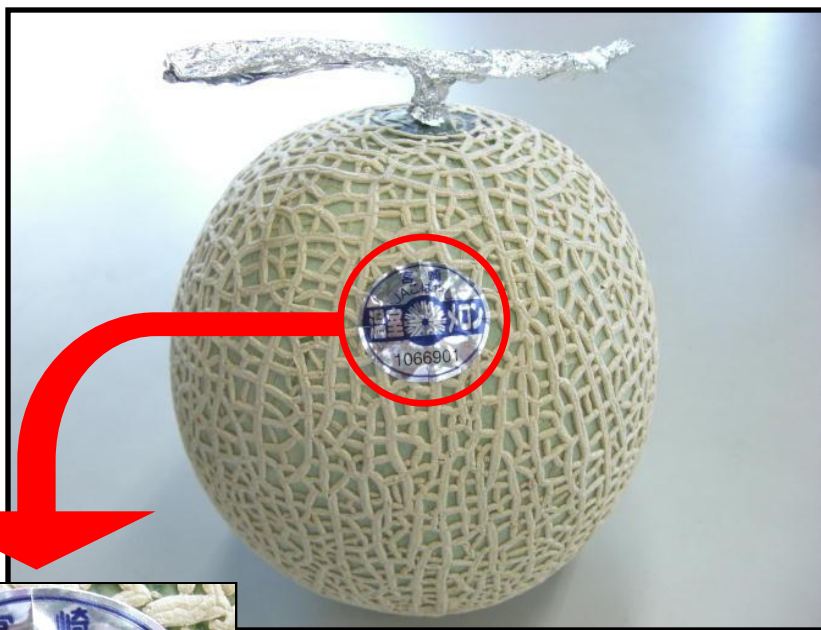
アールスメロン



完熟マンゴー

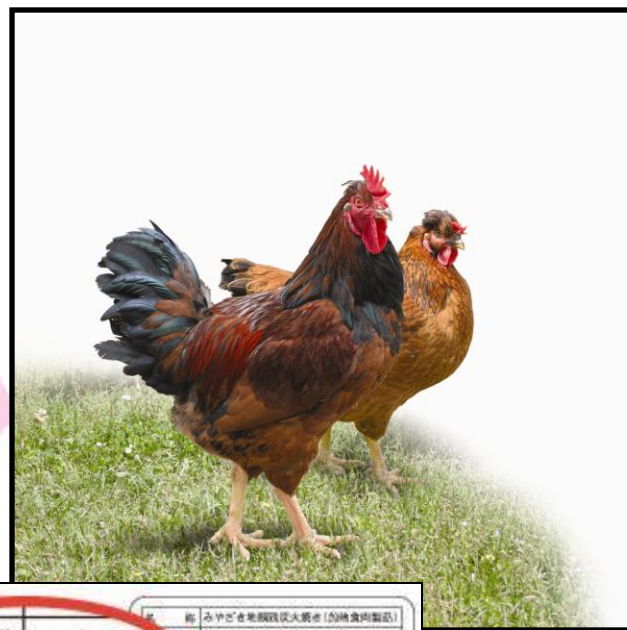
○消費者の安心を確保するためのトレーサビリティシステムの構築

◆いつ、だれが、どこで、どのような方法で生産した農産物
なのかの積極的な情報開示



みやざき温室光
センサーメロン

みやざき地頭鶏



生産者番号 MJC000

処理業者番号 MJC000

品名	みやざき地頭鶏(火鶏)(冷鮮食肉製品)
名称	みやざき地頭鶏(火鶏)(冷鮮食肉製品)
規格	規格番号: MJC000
生産者番号	MJC000
処理業者番号	MJC000
生産者	宮崎県農業協同組合(JA)
処理業者	宮崎県農業協同組合(JA)
生産地	宮崎県
生産方法	冷蔵(10℃以下)で保存してください。
製造	製造会社: 宮崎県農業協同組合(JA)
製造日	2013.05.03
生産者番号	MJC000
処理業者番号	MJC000
QRコード	
追跡番号	4 912346 123456

ポイント2 日本一の安全性

～残留農薬の産地自主検査等による信頼される産地づくり～

○「安全・安心」というものの、異なる「安全」と「安心」

安全



・イメージではなく、科学的な裏付け、根拠が求められる

安心



・心の問題、産地と消費地の信頼関係に関わる問題
・現在の食に関する不安は「食に関する情報の欠如」に起因

安全性確保の取組み

◆ 320種類

5,787検体 (平成20年度実績)



残留農薬分析システム

全国では

約2週間後、食べてしまった
後に結果がわかる

この農産物って
検査しているのかしら？



宮崎産は

食べる前に安全性がわかる
宮崎県の技術

宮崎の農産物って
おいしいし、安心だわ♡



ポイント3 総力戦のPR

産地名連呼型PR

価値伝達PR



産地にとって「売る」ということより「選ばれる産地になる」ことの重要性が増大
「選ばれ続けるにはどうしたらよいか」そのカギは「連携」という言葉にあり



他県とのコラボレーションによる販売活動



完熟マンゴー
「太陽のタマゴ」
山形さくらんぼ
コラボレーション
商品

「情熱!みやざき&おいしい山形」

ブランドキャンペーン

食品産業や異業種産業とのコラボレーション

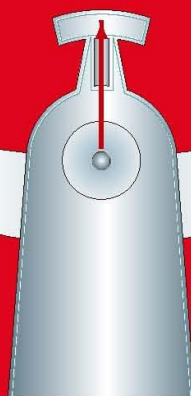


ロッテとの共同開発商品 「パイの実」 日向夏のパイ

軽くてスゴ衣 あったかい



ピーマン約2個の軽さ。



わずか **66g!**

宮崎県産ピーマン
グリーンザウルスを

2袋ご購入いただくと
ワコールあったか肌着
「スゴ衣」が
抽選で毎月2,000名様に
当たります!

※詳しくは「グリーンザウルス」パッケージ貼付の
「スゴ衣」プレゼントキャンペーンシールをご覧ください。

キャンペーン
実施中!

Wacoal

ワコール商品「スゴ衣」とのコラボ



ポイント1

選び抜かれた逸品

ポイント2

日本一の安全性

ポイント3

総力戦のPR

QRコードによる情報の提供

◆QRコードを活用し、携帯サイトでの商品や産地の情報提供を行っています。



見たことありますか?このマーク。

みやざきブランドを広く知っていただくための「商品ブランド認証マーク」です。



宮崎県認証
みやざきブランド推進本部

今後とも「商品ブランド」をご愛顧賜ります様、宜しくお願ひ申し上げます。

商品ブランド認証とは
消費・販売ニーズを捉えながら「安全・安心」を基本に、以下の項目等について一定以上の品質を確保した農産物を商品ブランドとして認証しています。
●外観(形状、色沢など) ●産地(産地) ●栽培方法(肥料・農薬・灌水など) ●収穫時期(収穫時期)

現在、農産物の30商品を商品ブランドとして認証しています。
詳しくはパソコンや携帯からご覧いただけます。



お手持ちの携帯で今すぐアクセス！
商品の品質や生産者情報など、あなたの気になる情報の詳細！
ぜひスマートフォンやタブレットがあれば、持ち寄りかんたん！もぐっとでき！

知事出陣のTVCMもCheck!

みやざきブランド 検索
<http://www.miyazakibrand.jp/>
みやざきブランド推進本部
【宮崎県・JA宮崎経済連】

JAはまゆう-みやざきエコピーマン



部会員数：71名

生産面積：13.0ha

安全・安心なピーマンをお届けできる
ようみんなで頑張っています。

【もっと詳しく】
【産地風景】

Contents

- [1] 認証マークとは？
- [2] 商品ブランドの紹介
- [3] みやざきブランドの取組
- [4] TV-CMをチェックする
- [5] 残留農薬検査システム
- [6] アンケート/待受ダウンロード
- [0] TOP

© MIYAZAKI BRAND.
All rights reserved.

JAはまゆう-みやざきエコピーマン

栽培・作業風景



農薬散布を減らすための天敵放飼

化学農薬や化学肥料を極力少なくする
よう工夫しています。

産地風景



沿海地帯で温暖な地域です。

青い海・青い空：宮崎

【もどる】



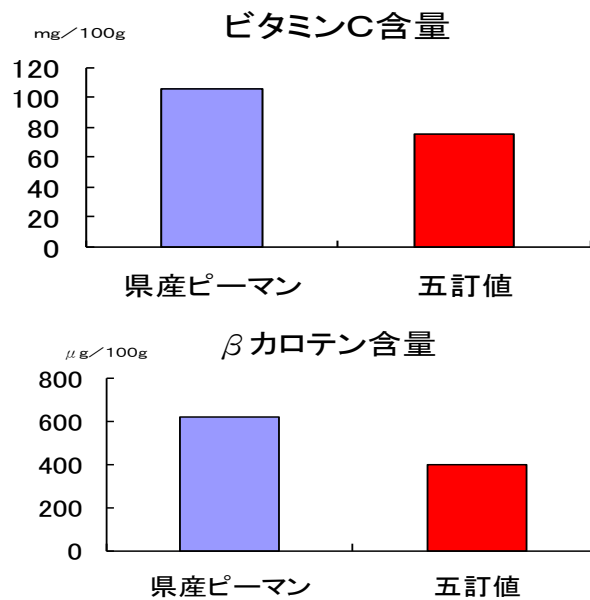
携帯電話で
アクセスすると

環境と健康に寄与するみやざきブランド新戦略構築事業

「ブームから定番・定着化へ」をキーワードに全国的に高まりつつある「みやざきブランド」の認知度を農産物の有利販売に結びつけるため、「安全・安心」をベースに、さらなる対策として「健康」及び「環境」をキーワードにした販売対策に取り組む。

(1) 機能性分析を活かした販売戦略構築事業

- ① 機能性成分表示対策事業
 - ・機能性成分表示法の検討及びモデル販売の支援
- ② 機能性成分含量確保対策事業
 - ・機能性成分に着目した栽培法の検討
- ③ 残留農薬検査体制維持確立事業
 - ・新規登録農薬及び動物用医薬品の分析手法開発

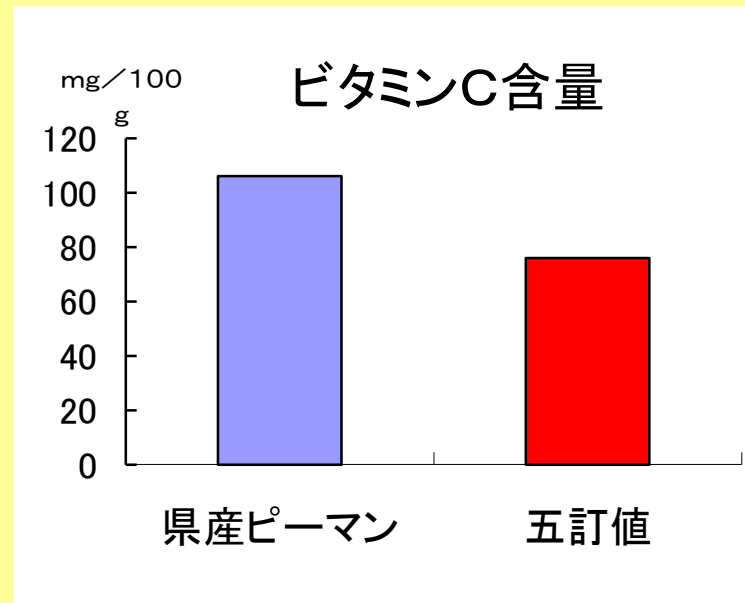
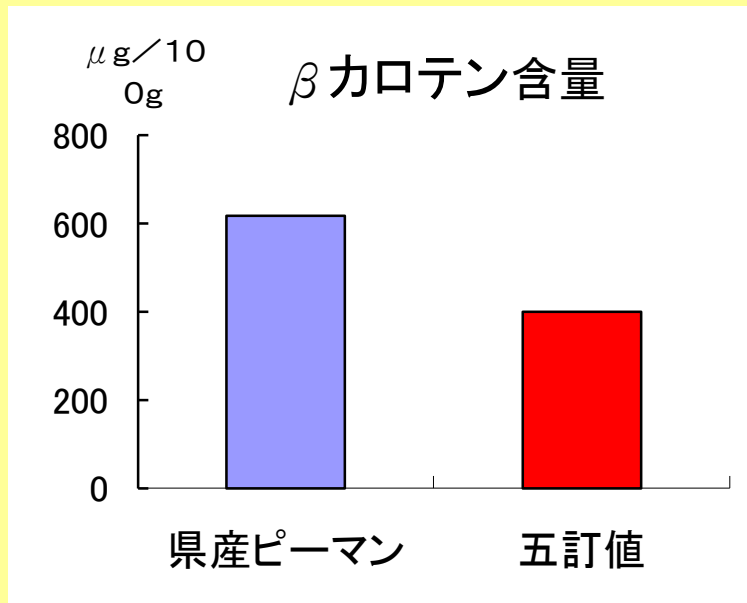


(2) 環境貢献をキーワードにした販売戦略構築事業

- ・環境対策を前面に打ち出したモデル販売対策並びにカーボンフットプリントの導入検討

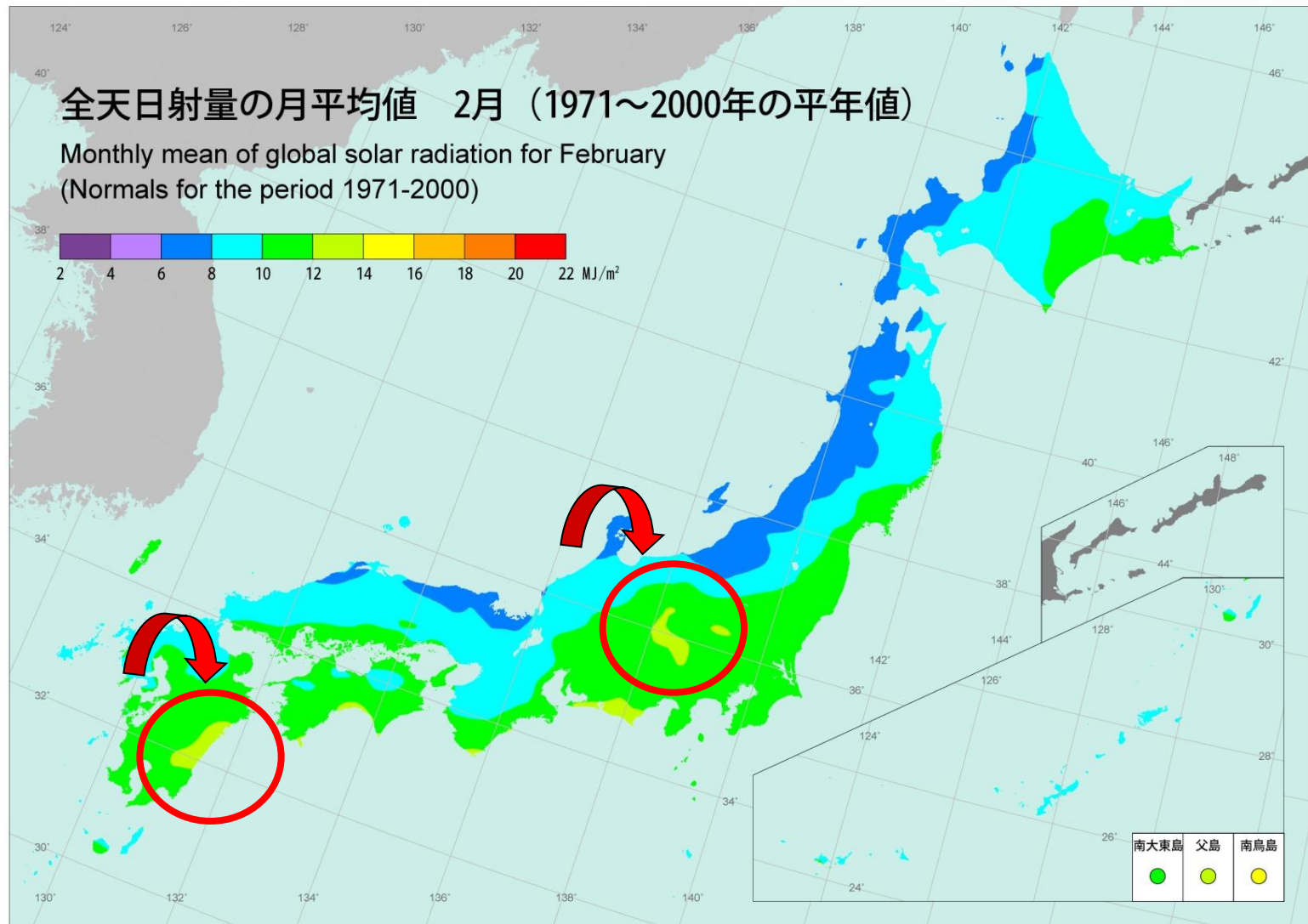
栄養成分・機能性成分の分析

- ◆ 2年間440サンプルのピーマンで調査
- ◆ **βカロテン**が日本食品標準成分表の**1.5倍**
- ◆ **ビタミンC**が日本食品標準成分表の**1.4倍**



※五訂: 五訂増補日本食品標準成分表の数値

◆冬でも日射量が多い宮崎



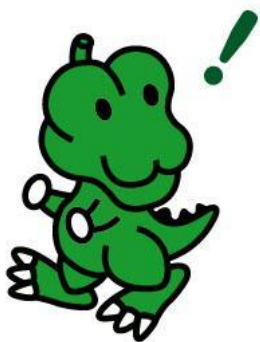
機能性に関する取組み



宮崎県産 ピーマンのビタミンC

ビタミンCとは

水溶性のビタミンで、コラーゲンの生成促進や抗酸化作用があると期待されています。



みやざきブランドの栄養・機能性成分分析の取り組みについてはこちらをご覧ください。↓



ビタミンC (100gあたり)

102mg (平均値※) 最小値**46mg**~最大値**193mg**

※この測定値は、宮崎県内で生産されたピーマンを、宮崎県総合農業試験場が、平成17年11月から平成21年11月にかけて、合計236サンプル測定した結果です。



いのちに感謝

みやざきブランド推進本部 [宮崎県・JA宮崎経済連]

宮崎県農政水産部 農政企画課 ブランド・流通対策室 〒880-8501 宮崎県宮崎市橋通東2丁目10番1号 (0985)-26-7127

JA宮崎経済連園芸販売部 マーケティング戦略課 〒880-8556 宮崎県宮崎市霧島1丁目1番1号 (0985)-31-2158

102mg

76mg

宮崎県産



ビタミンC

(100gあたり)

★五訂増補日本食品標準成分表の値

機能性に関する取組み

県産ピーマンの 機能性成分説明

600店舗に広告設置

12/2
8日

イオンと県など

県とJA富岡経済連でピーマンの機能性成分を推進本部

(羽田正治本部長)はイオン(千葉市)と連携し、県産ピーマンの「産地応援プロジェクト」を実施している。青果売り場にピーマンの機能性成分を説明するPOP広告を設置し、新たな価値を消費者に提供する。1月20日まで。

イオンのプライベートブランド(PB)である「トップバリュ」シリーズの「グリーンアイ 県産ピーマン」が対象で、ジャスコやマックスバリュなど全国の約600店舗で実施されている。

POP広告には県産ピーマンのビタミンCの値について表示。100g当たりの含有量

平均値は102mg(農総合農業試験場調べ)で、日本食品標準成分表が示す平均値76mgよりも30%近く多いことが棒グラフなどを使って分かりやすく記述されている。また、県産ピーマンを1袋購入すればイオンの電子マネー(WAON)ポイントが10枚贈呈される。

県農政企画課は「2005年度から県産青果物の機能性成分の分析をしている。蓄積したデータを消費者に提供し、農家の所得やブランド認知向上につまげたいと考えている」としている。

カーボンフットプリントの取組み

様々なタイプの可視化(見える化)ラベル(一例)



左から、①CO₂排出総量を表示、②排出削減効果を表示、③金・銀や☆の数を表示、④商品ではなく、店舗のポップ等に表示]
注1) 本アンケートにおいては、温室効果ガス排出量等を記載したラベルをニンジンに貼り、実際に展示台に陳列、消費者が回答。
注2) CO₂排出量14gは実測(ニンジン1袋400gの生産段階の燃油消費に係るCO₂排出量)。それ以外のラベルはサンプル表示。

「宮崎産なら安全・安心」

+

「環境に配慮した生産」

「機能性豊富な農産物」

||

「消費者に選ばれる産地宮崎」